

過剰なペーパーマネーが金融危機を起こして暴落する  
そのとき金融資産を守る術はあるのか

## 『臨界点を超える世界経済 通貨と金をめぐる4大危機に備えよ』

(著者)吉田繁治

(価格)2000円+税 〈発売日〉2019年6月19日 〈出版元〉ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役:唐津隆)は、新刊書籍『臨界点を超える世界経済 通貨と金をめぐる4大危機に備えよ』を2019年6月19日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

◆通貨はどこから来て、どこへ行くのか 主要国は通貨、株価、財政、銀行の4大危機に直面する！

目次

◇日本人が知らない「通貨の価値」の危機！◇

第一章●中世の偽金づくりに似たペーパーマネーの変遷

第二章●中央銀行の負債であるペーパーマネー

第三章●財政破産を先送りし、円安と貧困を招いた異次元緩和

第四章●中央銀行設立から見る米ドル基軸通貨への展開

第五章●独立戦争、FRB創設、ブレトンウッズ協定までの米ドル

第六章●FRBが反ゴールドキャンペーンを行った26年

第七章●中央銀行のマネー増発と金融資産の高騰

第八章●中国は問題解決のため新人民元創設に向かう

主要国は通貨、株価、財政、銀行の4大危機に直面する！

過剰なペーパーマネーが金融危機を起こして暴落する。そのとき金融資産を守る術はあるのか。

主要国は「大きすぎる負債」の利払いから危機に直面する！

通貨の危機(米国)、株価の危機(米国と日本)、銀行の危機(中国と日本、欧州)、財政の危機(日本)となるだろう。

「ドルの罠」から逃れるため新興国などはゴールドを買い集めている。

中国は金準備制へ向かうだろう。そのとき日本に策はあるのだろうか。

**著者:吉田繁治**

1972年、東京大学卒業(専攻フランス哲学)。流通業勤務のあと経営と情報システムのコンサルタント。87年に店舗統合管理システムと受発注ネットワークのグランドデザイン。経営、業務、システムの指導。95年~2000年は旧通産省の公募における情報システムの公募で4つのシステムを受託し、開発。2000年、インターネットで論考の提供を開始



【お問い合わせ先】株式会社ビジネス社 広報担当:松矢 〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail: matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。